

東京都知事からのメッセージ

21世紀に入り、全人類の半数が都市に住むままでに
なっております。また、アジアは豊かな潜在力をいよいよ
開花させ、世界の新しい極となりつつあります。こうした
「都市の世紀」、「アジアの時代」にあって、アジア各国の
頭脳部・心臓部である大都市が連携・協力しながらその
直面する課題を解決することは、アジアの繁栄と発展に
貢献し、国際社会におけるアジアの地位を一層高めて
いくものであります。



石原 俊一郎

東京都知事 石原慎太郎

それゆえ、私は、2000年に、「アジア大都市ネットワーク21」の創設
を主唱しました。翌年の発足以来、その具体的な取組としての共同事業は、さ
まざまな分野で着実な成果をあげています。

産業の分野では、アジアの存在感・交流の象徴とすべく各都市の技術力を活
かした中小型ジェット旅客機の開発を促進しております。アジアで大きな需要
が見込まれる座席数の機体の設計・製造には、日本・台湾・インドの企業が参
加するという成果を得ました。

アジアの発展を担う人材の育成でも、東京はアジアから延べ300人を超える
行政職員などを受け入れ、彼等は、帰国後、各国の第一線で活躍しておりま
す。

また、2010年からは、経済分野での交流を促進するため、東京での産業
交流展や総会開催都市で開かれる見本市に「アジア大都市ネットワーク21・
アジアゾーン」を設置し、アジアの企業が相互に販路開拓する場を設けました。
大都市が軸となりつつ、企業や住民など各界各層がこれまで以上に重層的・複
合的な協力関係を築いていくための第一歩になればと考えています。

危機管理面では、国境を越えた恒常的な協力体制の構築を進めてきました。
毎年、各都市の担当者がアジア危機管理会議で一堂に会し、テロや災害に関す
る情報や対処のノウハウを交換するほか、鳥インフルエンザなどの感染症に備
えるために、専門家が症例や治療法などを共有するネットワークも整備いたし
ました。

こうした中、2011年3月11日に発生した東日本大震災は、我が国の東
北地方のみならず、首都東京にも大きな影響を及ぼしました。大震災に際して、
アジア大都市ネットワーク21の会員都市をはじめとして、アジアの多くの
国々から温かい励ましのお言葉と様々なご支援を頂きました。この場を借りて
改めて厚く御礼申し上げます。

東日本大震災という未曾有の大災害に対応した東京の経験をANMC 21各都市と共有し、危機管理の取組をさらに充実させ、いつか必ず来る大規模災害への備えを万全にしていくことが重要であると考えます。

今後も、総会における議論や共同事業などのさまざまな活動を通じ、参加都市が互いの可能性を刺激しあい、連帯を深め、さらに具体的な事業の成果を生み出すことによって、このネットワークが、アジアのみならず、世界の発展に大きく貢献していくことを期待しています。